

保護者の皆さまへ

令和6年度 学校教育自己診断 結果報告書

河内長野市立加賀田中学校
校長 木村 淳

1. はじめに

今年度も生徒、保護者、教職員等の本校の教育に対する幅広い考えを知る目的で、「令和6年度 学校教育自己診断」を実施しました。この報告書では生徒、保護者調査を中心にその結果を考察し、本校の来年度以降の教育活動に活かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

2. 調査内容

本校の現状や課題、昨年度の調査結果等を考慮して、全生徒、保護者の方々に対して令和7年2月に18の調査項目（アンケート形式）で実施しました。内容については、「よくわからない」という選択肢をできるだけ避けるため、問いの文面を一部変更しています。集計結果及び考察等について、以下の通りまとめておりますのでご一読ください。

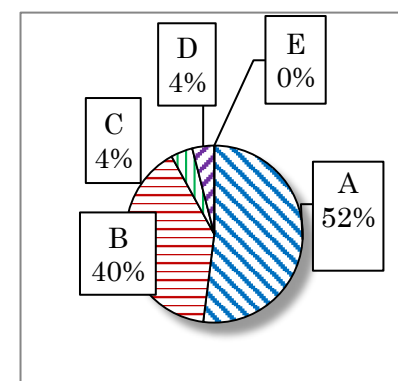
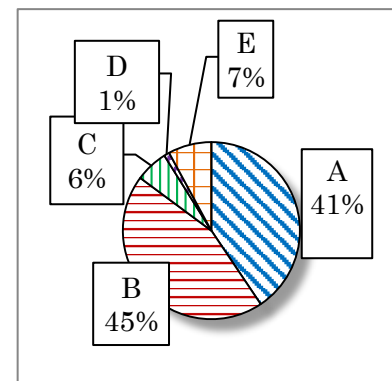
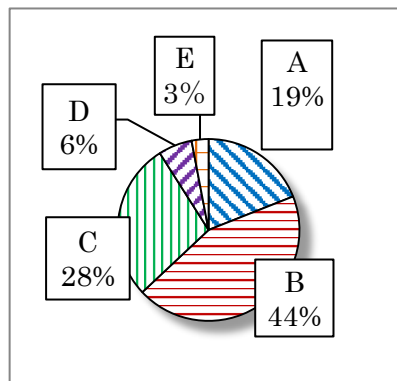
3. 調査結果

【アンケート結果の見方】

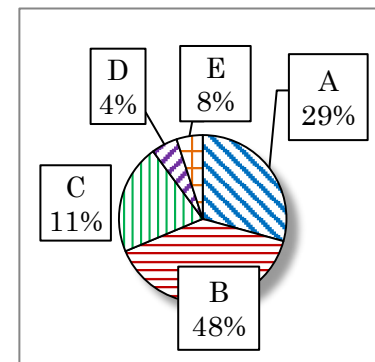
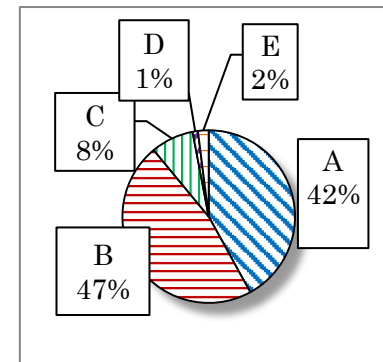
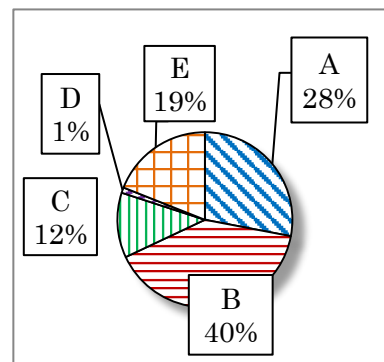
A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない
D：まったくあてはまらない E：よくわからない

生徒調査・・・18項目の結果を表示します。

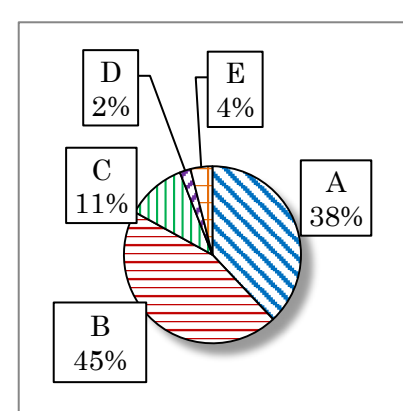
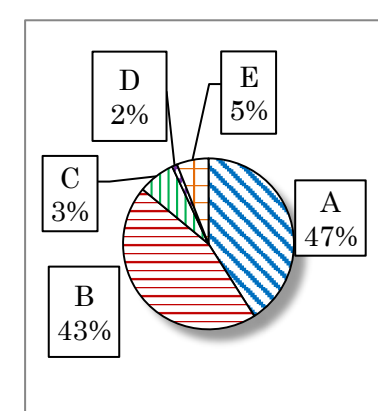
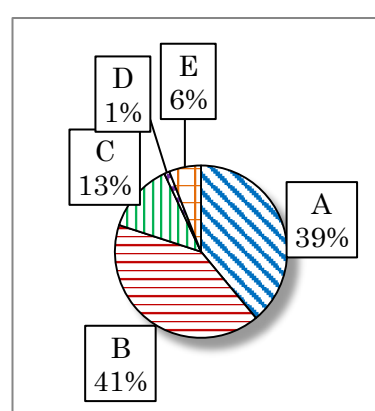
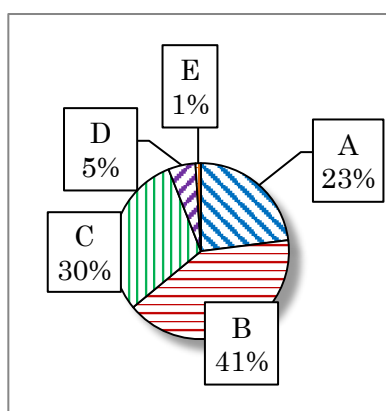
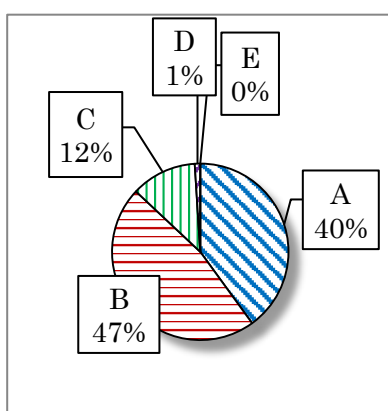
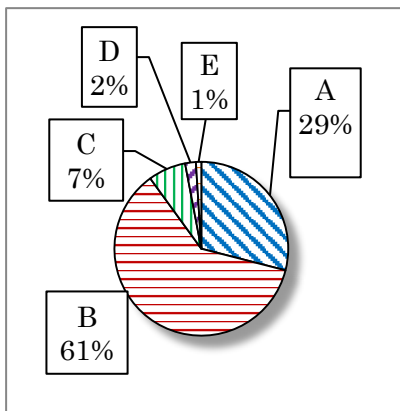
- 4. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。
- 5. 自分が習っている先生の中では、指導の仕方でいろいろ工夫している先生が多い。
- 6. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。



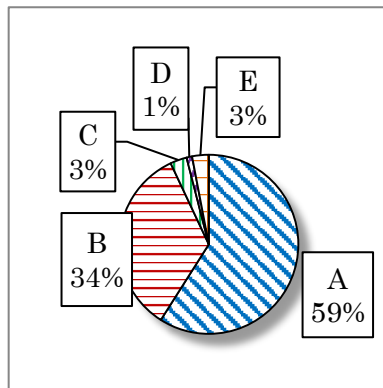
- 7. 一斉授業に比べて、少人数指導等(習熟度別学習や複数の先生による授業を含む)の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。
- 8. 全般的に学校生活は楽しいと感じている。
- 9. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。



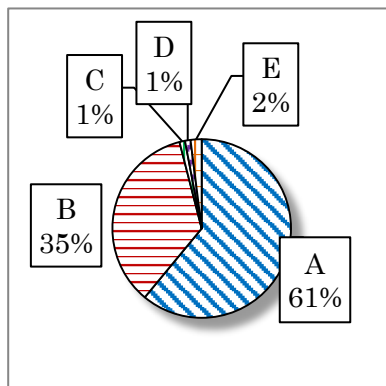
- 10. 部活動に積極的に参加している生徒が多いと感じる。
- 11. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。
- 12. 生徒会活動や委員会活動には、自分のできる範囲で協力したいと思う。



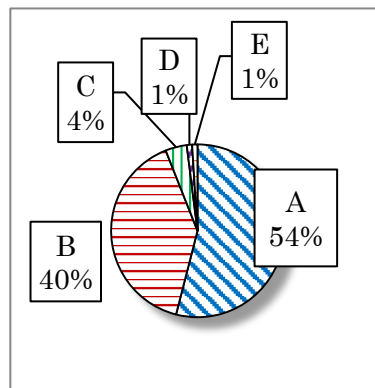
13. 今年の体育大会では、自分としては頑張って取り組むことができたと思う。



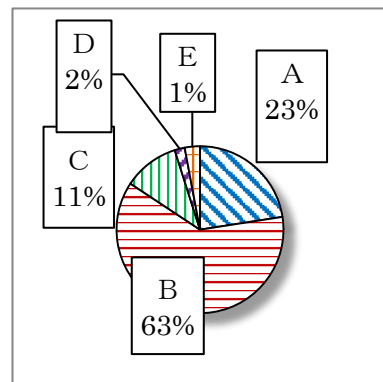
14. 今年の文化発表会では自分としては頑張って取り組むことができたと思う。



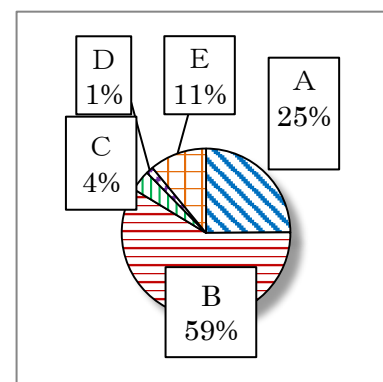
15. 毎日の清掃活動にはちゃんと参加している。



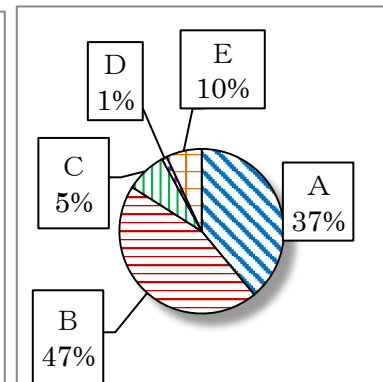
4. 学校での子どもの生活や学習内容については、ある程度把握している。



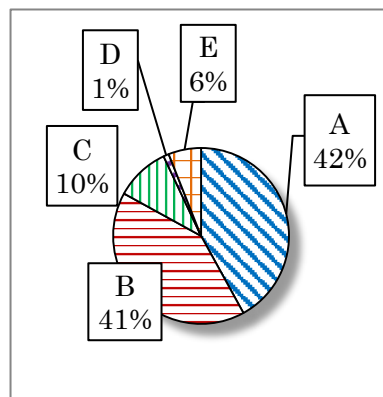
5. 学校は、子どもに人権を尊重しようとする意識を育てようとしている。



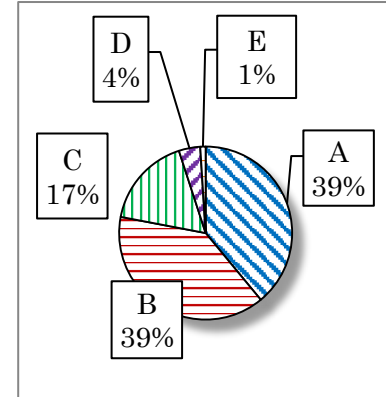
6. 学校は保護者が子どもの様子等について相談したことに適切に対応してくれる。



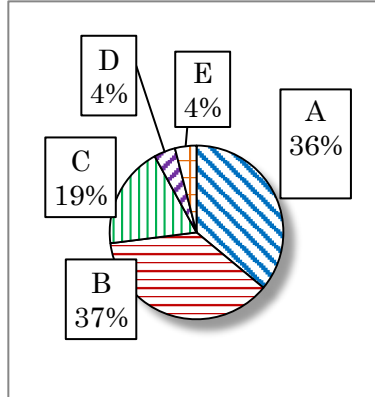
16. 昼食の時間は食事を楽しみ、ほっとする時間になっている。



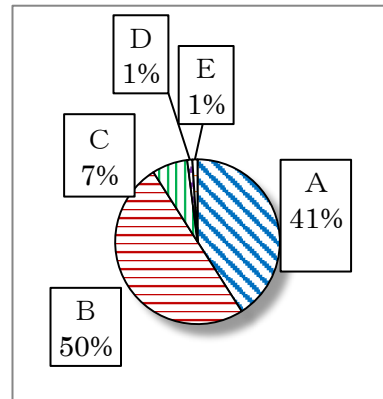
17. 学校からの配布物は、親に渡している。



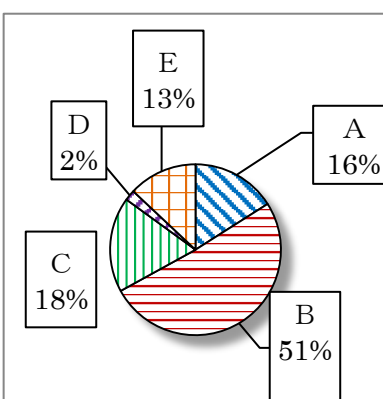
18. 学校の様子について、家庭で話し合う機会がある。



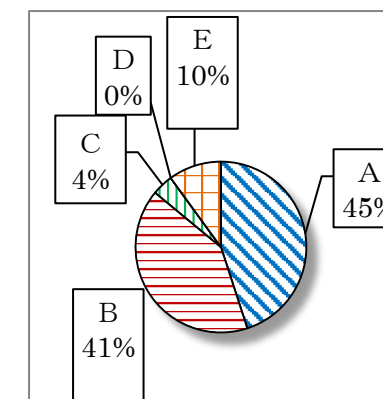
7. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。



8. 普段の授業について、子どもはわかりやすいと言っている。

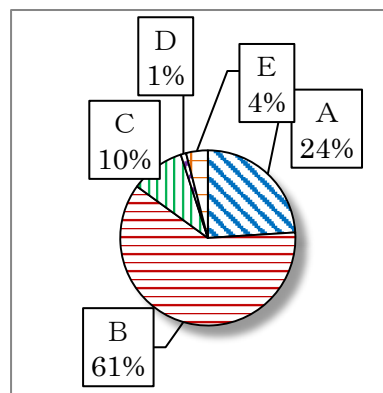


9. 一斉授業に比べて、少人数指導等の方が、子どもにとって効果的である。

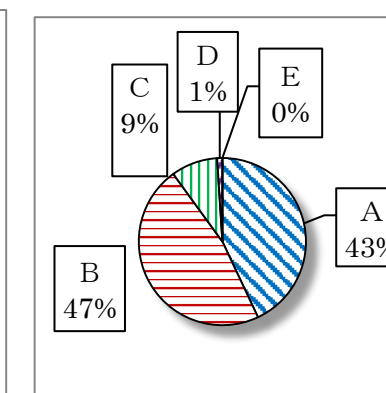


保護者調査・・・18項目の中で保護者の関心が高いと思われる調査項目を、例年同様に12項目を選んで表示します。

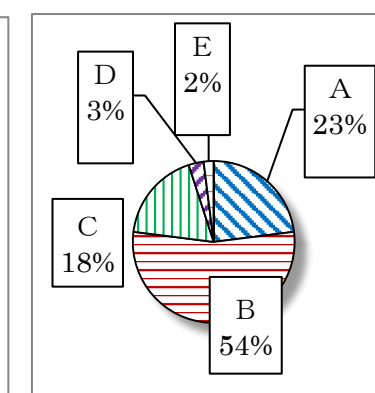
1. 学校の教育目標や指導方針は、分かりやすく保護者に知らされている。



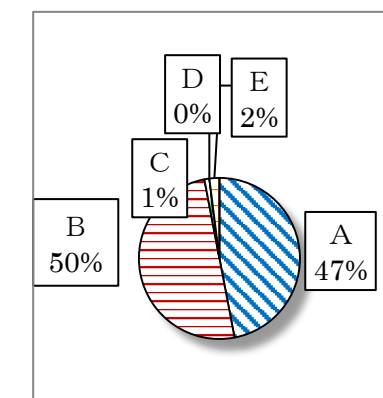
2. 授業参観や学級懇談会には、出来るだけ参加するよう心がけている。



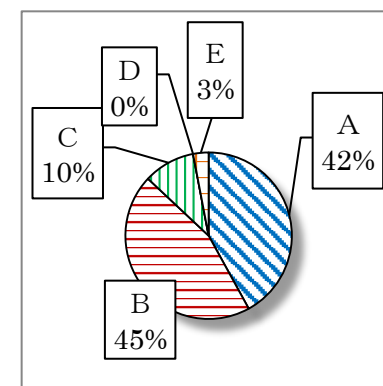
3. 学校の教育活動やPTA活動には、協力していきたいと思う。



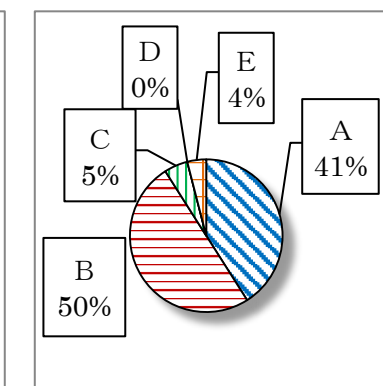
10. 年間を通じての学校行事の内容や数は適切である。



11. 学校からの子どもを通じての配布物には目を通して見る。



12. 学校から保護者への文書や連絡等は適切である。



経年比較調査・・・生徒調査及び保護者調査において、令和5年度と6年度の2年間を比較して、A及びBの合計が増加した項目と減少した項目を比較しました。

○生徒調査 A（よくあてはまる）及びB（ややあてはまる）の合計が**増加(維持)**した項目

項目	令和5年 A B合計	令和6年 A B合計
1. 全般的に授業はよくわかる。	84%	90%
5. 自分が習っている先生の中では、指導の仕方でいろいろ工夫している先生が多い。	81%	86%
6. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。	87%	92%
8. 全般的に学校生活は楽しいと感じている。	82%	89%
9. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。	69%	77%
10. 部活動に積極的に参加している生徒が多いと感じる。	70%	80%
11. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。	87%	90%
14. 今年の文化発表会では、自分としては頑張って取り組むことができたと思う。	92%	96%
17. 学校からの配布物は、親に渡している。	74%	78%
18. 学校の様子について、家庭で話し合う機会がある。	70%	73%

●生徒調査 A（よくあてはまる）及びB（ややあてはまる）の合計が**減少(維持)**した項目

項目	令和5年 A B合計	令和6年 A B合計
2. 学校生活の基本は毎時間の授業なので大切にしたいと思っている。	88%	87%
4. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。	63%	63%
7. 一斉授業に比べて、少人数指導等(習熟度別学習や複数の先生による授業を含む)の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。	75%	68%

12. 生徒会活動や委員会活動には、自分のできる範囲で協力したと思う。	88%	83%
16. 昼食の時間は食事を楽しみ、ほっとする時間になっている。	87%	83%

○保護者調査 A及びBの合計が**増加(維持)**した項目

項目	令和5年 A B合計	令和6年 A B合計
1. 学校の教育目標や指導方針は、分かりやすく保護者に知らされている。	80%	85%
2. 授業参観や学級懇談会には、出来るだけ参加するよう心がけている。	82%	90%
3. 学校の教育活動やPTA活動には、協力していきたいと思う。	74%	77%
4. 学校での子どもの生活や学習内容については、ある程度把握している。	78%	86%
5. 学校は、子どもに人権を尊重しようとする意識を育てようとしている。	75%	84%
6. 学校は、保護者が子どもの様子等について相談したことに適切に対応してくれる。	84%	84%
7. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	81%	91%
10. 年間を通じての学校行事の内容や数は適切である。	90%	97%
12. 学校から保護者への文書や連絡などは適切である。	91%	91%

●保護者調査 A及びBの合計が**減少(維持)**した項目

項目	令和5年 A B合計	令和6年 A B合計
8. 普段の授業について、子どもは分かりやすいと言っている。	70%	67%

4. アンケート結果の概要

生徒調査結果の概要

□ A（よくあてはまる）及びB（ややあてはまる）の合計値が高かった上位5項目

1. 今年の文化発表会では、自分としては一生懸命取り組みができたと思う。 96%
2. 毎日の清掃活動にはちゃんと参加している。 94%
3. 今年の体育大会では、自分としては一生懸命取り組みができたと思う。 93%
4. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。 92%
5. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。 90%
5. 全般的に授業はよくわかる。 90%

■ A, Bの合計値が低かった上位5項目

1. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。 63%
2. 授業や学級活動で、自分の意見を発表することができる。 64%
3. 一斉授業に比べて、少人数指導等（習熟度別学習や複数の先生による授業を含む）の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。 68%
4. 学校の様子について、家庭で話し合う機会がある。 73%
5. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。 77%

保護者調査結果の概要

□ A, Bの合計値が高かった上位5項目

1. 年間を通じての学校行事の内容や数は適切である。 97%
2. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。 91%
2. 学校から保護者への文書や連絡などは適切である。 91%
4. 授業参観や学級懇談会(4月)には、出来るだけ参加するように心がけている。 90%
4. 学校の生活指導の方針には、納得している。 90%

■ A, Bの合計値が低かった上位5項目

1. 生徒会活動は、活発に行われている。 62%
2. 学校の部活動は、活発に行われている。 67%
2. 普段の授業について、子どもは分かりやすいと言っている。 67%
4. 学校は、保護者や地域の人たちと話をする機会を多くもっている。 72%
5. 学校の教育活動やPTA活動には、協力していきたいと思う。 77%

経年比較調査結果（生徒）の概要

◇ 生徒調査において、令和5年度と今年度を比較してA, Bの合計値が増加した数値が大きかった上位3項目

1. 部活動に積極的に参加している生徒が多いと感じる。 10%
2. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。 8%
3. 全般的に学校生活は楽しいと感じている。 7%

◆ 生徒調査において、A, Bの合計値が減少した数値が大きかった上位3項目

1. 一斉授業に比べて、少人数指導等（習熟度別学習や複数の先生による授業を含む）の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。 7%
2. 生徒会活動や委員会活動には、自分のできる範囲で協力したいと思う。 5%
3. 昼食の時間は食事を楽しみ、ほっとする時間になっている。 4%

経年比較調査結果（保護者）の概要

◇ 保護者調査において、A, Bの合計値が増加した数値が大きかった3項目

1. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。 10%
2. 学校は、子どもに人権を尊重しようとする意識を育てようとしている。 9%
3. 学校での子どもの生活や学習内容については、ある程度把握している。 8%
3. 授業参観や学級懇談会(4月)には、出来るだけ参加するように心がけている。 8%

◆ 保護者調査において、A, Bの合計値が減少した数値が大きかった上位1項目

1. 普段の授業について、子どもは分かりやすいと言っている。 3%
2. 子どもは心身の健康について、気軽に相談できる。 2%
3. 学校は、保護者や地域の人たちと話をする機会を多くもっている。 1%

5. 考察及び今後の改善策（校長より）

生徒調査結果（経年比較を含む）の考察等

全体的に肯定的評価（「よくあてはまる」と「ややあてはまる」を足したもの）を見ると、全18項目のうち13項目が昨年度よりも上昇しており、生徒たちは学校や自分たちの学校生活がよくなってきていると感じていると評価できます。とくに肯定的評価が90%を超える高評価な項目は、「1 授業がよくわかる90%」「6 人権の大切さについて学習する機会がある92%」「11 生徒会、委員会活動が活発90%」「13 体育大会を頑張った93%」「14 文化発表会を頑張った96%」「15 清掃活動への参加94%」の6項目でした。

これらを見ると生徒たちは学校の授業における学習内容について、ある一定の理解をしている様子がうかがえます。私自身が授業観察をさせてもらっている中で、生徒たちの授業に臨む態度や姿勢からも同様に感じています。加えて生徒たちが学習内容を理解しやすいよう各教科担任がICTを活用したり、プリント教材作成や授業方式などに工夫を凝らしていたり、授業の「めあて」や「本時の流れ」などを提示し、生徒たちが今何について学習しているのかを視覚的に理解できるよう工夫したりしています。これらの取組を継続するだけでなく、さらに意識して行っていくことが大切なのだと思います。

また、人権学習については「総合」「特活」の授業時間や全校集会、学校だよりなどで人権の大切さを生徒たちに考えさせるよう努めていますが、このことについても生徒たちは強く意識していると言えると思います。また、いじめ事案や暴力行為が発生した生徒指導時でも人権的な指導を大切にしています。管理職や学年団、養護教諭などが集まり、丁寧に指導方針を立てて行っています。今後も人権学習を学校教育全般の要として怠ることなく学校生活のすべての機会において実施していきたいと思えます。

さらに、生徒会活動や委員会活動、体育大会、文化発表会など生徒が主体性をもって行う行事ごとについても生徒たちは満足していると言えます。これらについてはやはり、自分たちで企画・運営したり、クラスや団などのグループで何かを創り上げたりする楽しさや喜びを感じてくれているのだと思います。そして、学校を自治していく力であるシチズンシップ、自己決定していく力などの醸成へつなげていけるよう、取組を進化させていくことを目標にしていきたいと考えています。

一方、肯定的評価が低かった項目をあげると「3 自分の意見を発表することがある64%」「4 授業中質問をすることができる63%」「7 少人数指導の方が発言しやすいなど学習意欲が向上した68%」「9 相談できる先生がいる77%」「18 学校の様子を家庭で話し合う機会がある73%」があげられます。これらは、全て生徒のコミュニケーションにかかわる項目であり、自己表現や困ったときの相談をすることが苦手である様子がうかがえます。これからの世の中、自分を表現することや、将来仕事をするうえで人に相談する能力は必要なことだと言われています。社会人の話にはなりますが、会社の面接時に「あなたは仕事に困ったとき人に相談できますか」という質問がよくなされると聞きます。学校としても生徒から信頼され、安心して発表や相談することができる雰囲気づくりと、授業の中でもそれらのコミュニケーション能力を伸ばしていけるような仕組みや取組の必要性を感じます。

保護者調査結果（経年比較を含む）の考察等

保護者のみなさまへのアンケート結果については、全18項目中13項目で昨年度より肯定的評価が上昇しており、生徒アンケートと同じような結果となりました。とくに肯定的評価が90%を超える高評価な項目は「2 参観や懇談への参加を心がけている90%」「7 生活指導方針に納得している90%」「9 学校が家庭連絡や意思疎通をきめ細かく行っている91%」「13 学校行事の内容や数が適切である97%」「18 保護者への文書や連絡が適切である91%」の5項目でした。

この内容をまとめてみると、ご家庭との連携は概ね密にそして適切に行えていると評価できます。昨年度末に市内全校が導入したtetoru（テトル）で欠席連絡がスムーズになったことや学校からの緊急情報が保護者のみなさまの携帯電話に通知される便利さなども関係していると考えます。しかしながら、細かい意思疎通は丁寧に電話や家庭訪問等で行うことが理想的だと考えておりますので、そんな場合のご対応を今後ともお願いいたします。また、参観や懇談、行事についても積極的に学校に足を運んでいただいている結果であると思っています。今後ともさらにいいものを創っていきたくて考えておりますのでご協力の程よろしく申し上げます。

一方、肯定的評価が60%台という低い結果になったものは、「11 授業について子どもはわかりやすいと言っている67%」「15 部活動は活発に行われている67%」「16 生徒会活動は活発に行われている62%」の3項目でした。とくに部活動は、学校規模の縮小化に伴う生徒数の減少や部活動の地域への移行が叫ばれているこのご時世も関係していると思われます。とはいえ、現在吹奏楽部に導入している部活動指導員の拡充が市の政策としても上がってきており、本校への複数導入も要求していきたいとも考えています。また、前述にもあるように「授業がわかる」ことや「生徒会活動が活発」については生徒アンケートとの乖離が大きい結果となりました。授業や生徒会活動についてはさらなる工夫やアイデアを取り入れ、生徒、保護者のみなさまともに満足できるものを追求していきたいと考えています。

6. おわりに

本調査にご協力いただきました保護者のみなさま、誠にありがとうございました。

今年度、多くの教職員が入れ替わる中、授業改善、学力向上、生徒の自主的活動、人権学習、生徒指導など、生徒や保護者のみなさまに納得いただけるよう努力してきたと思っています。しかしながら、ご期待に添えていないこともあり、それを次年度の課題として取り組んでまいりたいと思っています。

とくに、学校行事は、本校教育目標の「自主」と「協調」を体現する場として、また、生徒たちの自尊感情や達成感を高める場として、そして、自己決定の場としても最も大切な活動であると位置付けています。

今後とも保護者や地域のみなさま、学校運営協議会委員のみなさまのご理解とご協力をいただき、本校教育活動をサポートいただきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。